

『ホスティングサービス個別規約』

本規約は、株式会社NTTぷらら(以下「当社」という)が定める、「ぷらら 法人標準規約」(以下「標準規約」という)における個別規約(以下「本個別規約」という)として発効します。

第1条(適用)

- 本個別規約は、当社 が会員に提供するホスティングサービス(以下「ホスティングサービス」といいます)の提供条件を定めるものです。
- 本個別規約は、予告なく変更することがあります。この場合、料金その他のサービス提供条件は、変更後の規約によります。

第2条(ホスティングサービス)

- 以下に定義するホスティングサービスは、標準規約第2条により入会契約が成立した会員が 当社 が指定する利用条件を満たし、かつ 当社 が別途指定する手順に従って申し込み、当社 がこれに承諾を行い、手続きを完了した時から利用できるものとします。
- 「ホスティングサービス」は、会員がWWW(World Wide Web)を利用して情報発信する際に、当社 の設備であるホスティングサーバ(以下「ぷららホスティングサーバ」という)に会員 が用意した情報を設置するためのディスクエリア(以下「ユーザディスクエリア」という)を提供するサービスです。「ホスティングサービス」は以下に定める 種類のサービスを提供するものとします。

基本サービス	ディスク容量	内容	条件
ビジネス ホームページ	5MB	<ul style="list-style-type: none"> レンタルホームページを提供 契約会員は、ぷららホスティングサーバを共用し利用する 	<ul style="list-style-type: none"> 一時的な情報ファイルの蓄積、保存のみを目的とした利用は不可 内容開示ができない情報の設置は不可
	10MB		
	50MB		
	50MB 以上は 10MB 毎に追加		
ビジネスサーバ・ Standard プラス	300GB	<ul style="list-style-type: none"> 仮想サーバであるユーザディスクエリアを提供 契約会員はサイトマネージャでユーザディスクエリアの管理を行う 契約会員は、ホスティングサーバを共用し利用する 	<ul style="list-style-type: none"> 転送先等に登録されるメールアドレス(以下「登録メンバ」という)を付与するプロバイダー各社に起因するトラブル、および会員、利用者または登録メンバが利用するアプリケーションに起因するトラブルの苦情は、一切対応しない。
ビジネスサーバ・ VPS	300GB	<ul style="list-style-type: none"> 仮想専用サーバであるユーザディスクエリアを提供 契約会員はコントロールパネル及びリモートアクセス(SSH)でユーザディスクエリアの管理を行う 契約会員は、ホスティングサーバを共用し利用する 	<ul style="list-style-type: none"> 転送先等に登録されるメールアドレス(以下「登録メンバ」という)を付与するプロバイダー各社に起因するトラブル、および会員、利用者または登録メンバが利用するアプリケーションに起因するトラブルの苦情は、一切対応しない。 AntiSpam、AntiVirus の機能が適切に動作しないことによるメールの紛失、事故及び誤用等に起因する会員の損害につき一切の補償を行いません。また同機能が適切に動作しないことにより会員に生じた損害について、一切の責任を負いません。

● オプションサービス

オプションサービス	前提条件	内容	条件
追加 IP アドレス	ビジネスサーバ・VPS 契約	ユーザディスクエリアにグローバルIP アドレスを固定で1 個割当	当社 より付与されたIP アドレスが、技術的あるいは運用上の理由により変更される場合があります。その場合、当社 は1週間前までに当該会員へ通知するものとしますが、標準規約第19 条に定めるようなやむを得ない事情により緊急的に変更を必要とする場合にはこの限りではありません。またこの場合会員及び利用ユーザに生じた損害についても標準規約第19 条の定め に 準ずるものとします。
SSL 証明書	ビジネスサーバ・Standard プラス 契約 ビジネスサーバ・VPS 契約	認証局より発行された証明書を利用した WWW による情報発信を可能とするサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・IP ベース利用時に限定 ・証明書等の認証局への申請にあたり必要となる証明書署名要求(CSR)及び署名された証明書の(株)Plala と会員等との間の授受は電子メールにより行うものとします。 ・証明書等を不正に利用された場合、その事実を認知した認証局より会員への連絡、認証局の定める規約等に基づき法的措置等が行われることについてあらかじめ同意いただきます。また、その場合において(株)Plala は、会員に対しいかなる責任も負いません。
ウイルスチェック	ビジネスサーバ・Standard プラス 契約 ビジネスサーバ・VPS 契約	ユーザディスクエリア内のメールサーバを経由する送受信メールに対してコンピュータウイルスの検知、駆除を自動的に行うサービス	当社 はウイルスチェック・サービスによって全てのウイルスに対応していることを保証しません。ウイルスと判断せず、ウイルスが通過した事によって発生する損害については、当社は一切の責任を負いません。ウイルスチェックを実施する事業者によってウイルス感染されたと判断された結果、メールが送信されないことによって起因する一切の損害については、当社は責任を負いません。

- 利用期間の定めは、標準規約第7 条に定める方法で通知されるものとします。

第3条(条件)

- 当社 は善良なる管理者の注意義務をもって接続サービスを提供いたしますが、データの ぷららホスティングサーバへの転送速度またはインターネット・Web ページのコンピュータ端末での表示速度等、当社の提供するサービスが会員の希望する水準を満たしていない場合においても、当社は会員に対して責任を負わないものとし、利用料金の返金等の責を負わないものとします。
- 「ホスティングサービス」を利用するにあたり、以下の環境が必要です。
 - (1)ぷららホスティングサーバに対し、FTPを使ってリモートで情報の設置ができること。
 - (2)ぷららホスティングサーバに設置された情報の開示性の確認ができること。
 - (3)当社より電子メールでの速やかな連絡が可能であること。

- (4)会員はドメインを 当社 に申請し、当該ドメインを使用するものとする。但し、「ビジネスホームページ」及び「ビジネスサーバ・Standard」については、会員がドメインを用意できない場合は、当社 が用意する任意のサブドメイン(以下「ぷららドメイン」という)を使用できるものとする。「ビジネスサーバ・VPS」については、ぷららドメインは使用できないものとする。
 - (5)会員は、本サービスを利用した不正利用が生じないよう適切に管理すること。
 - (6)その他、会員は標準規約第7 条に定める方法で通知される技術的条件を遵守するものとする。
- 会員は、その提供を受けるサービスの品目を変更する請求を、変更を行う1ヶ月前までに 当社 に行うことができます。 当社 はこの請求があった時に、標準規約第5 条、第15 条のいずれかの項目に該当する場合には、その申込を承諾しないことがあります。
- ホスティングサービス利用において、会員及び標準規約第2 条に定める管理責任者は、当社 より付与されたFTP用ID及びパスワード (ビジネスホームページ利用において、ユーザディスクエリアへの情報の入力、更新、保存、削除を行う権限を有する)、コントロールパネルログインID及び パスワード(ビジネスサーバ(全サービス)利用において、ユーザディスクエリアへの情報の入力、更新、保存、削除及びユーザディスクエリアからの情報の送受信を行う権限を有する)及びIP アドレス(ビジネスサーバ(全サービス)利用 にあたって付与される)の管理責任を負うものとし、その管理については標準規約第10 条に準ずるものとします。
- 当社 は会員に対し、利用するドメインに関するプライマリDNS(Domain Name System)サーバ及びセカンダリDNSサーバを提供する。
- 当社 は会員に対し以下を免責することを会員は承諾するものとします。
 - (1)当社 はプライマリDNSサーバ及びセカンダリDNSサーバの環境(ハード、設置場所、設定、IPアドレス等)を予告なく変更する場合があるが、これにより会員に生じた損害について一切の責任を負わない。
 - (2)当社 はプライマリDNSサーバ及びセカンダリDNS サーバが適切に動作しないことにより会員に生じた損害について一切の責任を負わない。
 - (3)当社 は善良なる管理者の注意義務をもってホスティングサービスを提供しますが、データのサーバへの転送速度またはインターネット・ ホームページのコンピュータ端末での表示速度等、当社の提供するサービスが会員の希望する水準を満たしていない場合においても、当社は会員に対して責任を 負わないものとし、利用料金の返金等の責を負わない。
 - (4)ユーザディスクエリアのデータが、滅失、毀損、漏洩、その他本来の利用目的以外に使用されたとしても、その結果発生する直接あるいは間接の損害について、当社 はいかなる責任も負わない。
 - (5)会員の登録した情報等又は会員の管理する情報等が、標準規約第3 条1 項の条件に違反する場合は、当社 は会員に対し何らの通知なく、現に蓄積している情報を削除し、又はサービスの提供を停止することができるものとする。その場合、 当社 はいかなる責任も負わないことを会員はあらかじめ承諾するものとする。
- 会員はWWW 技術を利用した情報発信を行う場合、ユーザディスクエリアの情報の設置において、以下の条件を遵守するものとします。
 - (1)WWW 技術を利用した情報発信を行うことを目的とした、テキスト、画像、動画、音声などであり、会員が本サービスを申込んだ時点で、当社 がサポートするファイル形式であること。
 - (2)会員が設置した情報から第三者の情報へリンクを行う場合は、リンク先の情報に関しても契約者が設置した情報とみなすことがある。
 - (3)会員は、当社 より割り当てられたユーザディスクエリアに対し、あらかじめ 当社 より定められた方法により、自ら情報を設置しなければならず、情報の設置等に関し、当社 はその代行は行わない。
 - (4)会員がユーザディスクエリアにおいてCGI スクリプト等を不正に利用した場合、その事実を認知した著作権者より当該会員への連絡や著作権者の定める規約等 に基づき法的措置等が行われることについて、会員はあらかじめ同意するものとする。また、その場合において 当社 は、会員に対し、いかなる責任も負わない。
 - (5)会員は、標準規約第15 条1 項各号に違反する情報を設置することはできない。この場合、 当社は、会員に

通知し或いはその承諾を得ることなく、当該情報を削除することができるものとする。またこの削除によって会員が被った損害について、当社は一切の補償を行わない。

- ユーザディスクエリア利用について、以下の行為は厳に禁じます。
 - (1)契約者から第三者への情報又は電子メール受渡しの中継だけを目的とした利用。
 - (2)各VDS へ提供されるCGIスクリプト等の不正利用。
 - (3)第三者による中継利用を提供する/第三者により不正な改竄を行われる等の不正なサイト又はその恐れのあるサイトの設置。
- 会員が作成したメールアドレス又は設置されたCGI スクリプト等を利用した行為により、当社 が提供するサービスのいずれかに支障が出たまたは支障が生ずるおそれがある場合は、当該行為を会員が行ったか否かに関わらず、当社は利用されたメールアドレス又はCGI スクリプトを含むVDS について、会員への事前又は事後の告知無しにサービス停止等適宜必要な措置を行うことができる。
- 当社はサーバ設備の故障又は停止等の復旧に対応するため、ユーザディスクエリアのデータを取得することがあります。
- 当社は、第2 条に定めるホスティングサービスにお申し込みいただいた会員を、標準規約および本個別規約にご同意いただいたものとみなします。
- 上記に加えて、ビジネスサーバ(全サービス)の管理・運用にあたっては、以下の規定を遵守するものとします。
- 原文については、予告なく変更される場合がありますことあらかじめご了承ください。以下のとおり、規定します。
 - (1)当社は会員がインターネットを通じて情報を伝達する場合、そのいかなる情報についても、判断、編集、検閲または責任を負うことはできません。会員は情報をインターネット上に置く場合、他の著者が著作権侵害、名誉毀損およびその他の悪意ある発言について負う責任と同じ責任を負います。
 - (2)以下の各事項に該当する行為を禁止します。
 - ・会員が伝達した情報により他の利用者に影響を及ぼしたり、当社 の名声および事業運営に損害を与える可能性がある行為。
 - ・未承諾の大量かつ営業目的のメッセージをインターネット経由で送ること(「スパミング」)また、SMTP リレーを維持させること。これらにより苦情が寄せられた場合、当社は、すべての証拠をもとに裁量権を行使して、電子メールの受信者が「承諾済」電子メール・リストに存在したか否かを決定します。
 - ・幼児ポルノ、わいせつな発言またはマテリアルを宣伝、送信、保存、掲示、また、その他の方法により、これを入手可能にすること。
 - ・名誉毀損的、嫌がらせ的、中傷的または脅迫的な言辞を送信または掲示すること。
 - ・電子メールの発信者を隠すために、メッセージ・ヘッダの全部または一部を改ざんまたは不正な表示を行うこと。
 - ・違法に、または許可無く、他人のコンピュータ、アカウントもしくはネットワークにアクセスすること、または、他人のシステムのセキュリティ装置への侵入を試みること(しばしば「ハッキング」として知られる)。また、システム侵入の前段階として用いられるすべての行為(すなわち、ポート・スキャン、ステルス・スキャン、または、その他情報収集行為)。
 - ・インターネット・ウイルス、ワーム、トロイの木馬の作成に関する情報の配布、ピンギング、フラッドイング、メール爆弾、または、サービスアタックの否認。また、ネットワーク、接続されたネットワーク、システム、サービスまたは機器の利用を妨げ、またはこれらを有効に利用するための他人の能力に干渉する 行為。
 - ・本規約に違反するよう考案されたソフトウェア、プログラム、製品またはサービス(これにはスパム・メールを送りつける手段の促進、ピンギング、フラッドイング、メール爆弾、サービスアタックの否認の開始、およびソフトウェアの剽窃を含む)の宣伝、送信その他これらを入手可能にすること。
 - ・違法と定められた行為(これに、ネズミ講、ネズミ講的販売方法、詐欺的な請求をするクレジットカード、ソフトウェアの剽窃を宣伝、送信または利用可能にすることを含みます)を行うこと。

- ・合法・非合法を問わず、当社 が自らの利用者、事業運営、名声等有害であると判断する行為を行うこと。
- o (3)当社 、ニュース・グループのコンテンツが本規定に違反する場合、ニュース・グループの掲示を拒絶する権利を留保します。
- o (4)当社 は、違反する行為が判明した場合、その行為をやめさせるためのあらゆる措置(これには情報の除去、ウェブサイトの閉鎖、不快な通信の遮断するために考案されたスクリーニング・ソフトウェアの実行、インターネットへのアクセスの拒絶を含みますが、これらに限定されません)を執ることができ、また、当社 が適切と見なす他のすべての行為を執ることができます。
- o (5)当社 は、裁判所の命令、召喚状、出頭命令、証拠開示要求、令状、制定法、規制または政府の要求を遵守するために、情報(利用者、当社のネットワークを利用して なされた通信またはウェブサイトに関する情報を含みますが、これらに限定されません)を開示することがあります。

第4条(料金)

- ・ ホスティングサービスの利用料金額及び支払い方法は、標準規約第13 条、14 条に従い、その具体的な方法については同規約第7 条に定める方法で通知されるものとします。

第5条(その他)

- ・ 会員は、標準規約に基づき退会あるいは会員資格を失った場合、ホスティングサービスの利用は当然にできなくなるものとします。
- ・ ホスティングサービスの利用について本個別規約に定めのない事項は、標準規約が適用されるものとします。

附則

- ・ 本規約は 2003 年 7 月 1 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2004 年 6 月 16 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2004 年 10 月 1 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2004 年 12 月 1 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2005 年 2 月 15 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2005 年 9 月 7 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2005 年 9 月 27 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2006 年 2 月 24 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2006 年 9 月 27 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2006 年 11 月 20 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2007 年 10 月 25 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2008 年 3 月 1 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2008 年 6 月 2 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2009 年 2 月 25 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2009 年 4 月 30 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2009 年 10 月 5 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2016 年 4 月 4 日より改定実施するものとします。
- ・ 本規約は 2018 年 8 月 1 日より改定実施するものとします。